

11春闘賃上げ交渉再開！

11春闘第5回賃上げ交渉報告

中央本部は、11日に東北地方太平洋沖地震が発生したことを受けて、組織の総力を挙げて救援活動に取り組むことから、11春闘交渉を一時休止することを会社に申し入れ、被災地への支援行動に集中してきました。職場の組合員の努力によって、迂回輸送など被災地への救援物資輸送や、鉄道貨物輸送の社会的使命を果たし、その必要性も社会的に明らかになりました。

中央本部は春闘を年度内に決着をして、節目をつけてから復興に力を注ぐこととし、休止を解除することとしました。再開にあたって①今年度の落ち着き見込みと来年度の見通し、被害総額など会社の現状を明らかにすること。②震災で明らかになった鉄道貨物輸送の社会的使命の重要性について、国など様々な方面に訴え、全国ネットワークを維持する仕組みをつくること等を会社に指摘し、交渉を再開しました。

本日時点での会社の考え方は以下の通りです

- ①賃金に関わる重要な交渉の休止や、コンテナや石油など迂回輸送に協力して頂いたことにお礼申し上げる。
- ②第4回交渉（11日）以降の動向として、物流業界やJR他社（東日本除く）は金額が同じか定昇のみ実施にとどまっている。
- ③東北地方太平洋沖地震により線路や会社施設、車両などが多数損壊し、東北本線や常磐線は今も不通となっている。運輸収入は一日につき対計画1億円のショートに回復しているが、今年度黒字達成は微妙な状況となっている。
- ④23年度見込みは、東北本線が4月中旬に開通するものの、現地の製紙、ビール、自動車部品などの大荷主が被災し、生産活動の再開が見通せないことや、東京電力の計画停電で生産活動の足かせとなることもあり、収入ベースが震災以前にまで戻るのは難しい。増収に最大限努力していくが23年度事業計画は一定の時期に見直さざるを得ない。
- ⑤定期昇給は所定どおり実施するが、将来に響くベースアップは難しいと言わざるを得ない。

中央本部は、無責任な考え方を断じて許さず以下の点について糾しました。

- ①今春闘もベア要求を掲げているが、震災を理由にしたベアゼロは認められない。職場は不眠不休で迂回輸送や収入確保に必死になって取り組んでいる。そして今、大震災に対し労使が一体となって立ち向かい、会社再建の努力に応えることは、ベアを実施することだ。
- ②被災組合員に対する見舞金などの救済措置を早急に実施するべきである。
- ③グループ会社の被災状況も悲惨である。仙台臨海や東北ロジなど労連加盟組合員の雇用確保に対し、貨物本體も責任を持つべきである。
- ④貨物労組は年度内で決着することで考えているので、明日31日を改めて回答指定日とする。諸要求を含め誠意ある回答を示すこと。

中央本部の指摘に対して、会社は社内検討することを明らかにして第5回交渉を終えました。

組合員のみなさん。今震災は私たちにとって大きな難局です。しかし迂回輸送など職場では混乱しながら安全輸送を担っているのは貨物労組組合員です。定昇見送りを含めこれまでの労苦に報いさせるためにも、組織一丸となって春闘をたたかおうではありませんか！中央本部も最先頭でたたかうことを改めて決意し報告とします！

次回交渉（回答指定日）は3月31日（木）です。